

神学校献金(神学生奨学金献金) 振替00150-7-669605 日本バプテスト連盟全国壮年会連合事務局

「引続き神学生を支える働きと教会形成に励みましょう！」

全国壮年会連合 副会長（神学校献金推進担当）三室 日朗

2018年度の神学校献金は目標額3,000万円に対し、1,986万円となりました。教会を取り巻く厳しい環境のなか、今年も多額の献金を神学生のために献げていただきましたことに深く感謝いたします。献金額は2015年度頃から徐々に低下しはじめていましたが、2018年度は前年度から約1割強の大きな減少となり、金額としてもついに2,000万円を割り込みました。同じく奨学金の受給者（神学生）も減少を続け、新年度の西南学院大学神学部への教会・伝道所からの入学者は0人となりました。

献金額の減少は、連盟の協力伝道献金や各個教会の献金額の状況と同様に、私たちや教会を取り巻く経済状況の悪化による影響が大きく、神学生を支える壮年の意欲の低下が主要因ではないと考えます。教会を取り巻く状況の変化は、牧師の経済状況を直撃し、厳しい生活を強いられている牧師の存在も報告されていま

すし、このことが牧師の奨学金の返還にも影響を与えています。このことについては、いま奨学金委員会を中心に返済条件の緩和策を中心に「奨学金制度の充実」策を検討中で、今年の夏の総会で提案される予定です。

昨年夏の総会で、2人の代議員から壮年会活動の中長期計画の検討を始めるべき時期に来ているとの意見が出されました。役員会はこれを真剣に受け止め今後どう具体化するか考え始めました。献身者のこと、献金額のこと、自分と教会を取り巻く状況の変化を的確に把握し、これからの壮年会活動を具体的にどのように変化させていくのか、一人ひとりの発言と行動が求められています。私たち壮年にとって、神学生を支える使命に変化はなく、献金目標額は現在の目標額を維持しながら、新しい展開を一緒に考えていきましょう。

「わたしの好きな讃美歌は新生讃美歌24番」

北海道地方連合壮年会会長 札幌バプテスト教会 堂前剛志

わたしの好きな讃美歌は新生讃美歌24番「歌え、歌え、キリストの愛を」です。この讃美歌がプログラムの中にあると、ひととき大きな声で讃美しています。作詞されたのは先日3年間の闘病生活後に天に召されたN姉妹です。姉妹はアニー・フーバー宣教師とともに長く北海道の（開拓）伝道を担われ、小樽教会を始めとして、平岸、西野、リビングホープ教会など多くの教会、伝道所がたてられてきました。また多くの讃美歌を作詞されそれが新生讃美歌にも取り上げられています。姉妹の葬儀には全道から多くの兄弟姉妹が参列されました。暫く教会を離れている方もみえられ、ここにも主が働かれていることを思わせられました。

さて昨年8月に北海道連合は数年ぶりに「信徒大会」を2泊3日の日程で日高青少年自然の家にて開催しました。全道の教会から80名を超える教会家族が集められ年令、世代をこえて交わり、恵みを分かち合う時を持つことが出来ました。

プログラムでは各会の時間も持たれました。壮年会では事前に各教会の壮年会の活動状況と神学校献金への取り組み状況を分かち合う時を持つこととして進めました。各教会の壮年会の現状は、会員の高齢化や担い手不足などの困難があることを共有しました。神学校献金への取り組みでは、神学校週間の礼拝のなかでのアピール

や壮年会のメンバー手作りの昼食を提供することにより得た売り上げを献金として捧げるなどの紹介がありました。北海道という広い地域の中でそれぞれの教会がどういった活動をしているのかを互いに顔と顔を向き合わせて理解を深めることが出来大変有意義な会となりました。

この信徒大会をへて苦小牧教会の新会堂への引っ越し作業を帯広教会の壮年のメンバーが協力して行い、また札幌教会からは壮年有志が讃美の奉仕に苦小牧教会に出かけるなど協力の輪が広がってきていることに喜び感謝したいと思います。

北海道連合では16教会のうちリビングホープ教会が3年間、また、この4月からは旭川東光教会が無牧師となります。連合の各教会が互いに祈り、補い合いながら協力して伝道の取り組みを進めたく考えます。



《神学生の証》 西南学院大学神学部 博士前期2年 川久保拓也（推薦教会 ふじみ野教会）



神学部での学びも早いもので四年目を迎えました。今年度は最終学年となり、いよいよ赴任へ向けての準備や神学校での学びのまとめである論文執筆を具体的に進めていきます。いつも私たち神学生のために祈り、お支えくださっている全国諸教会の皆様にご心より感謝申し上げます。

先日、日本クリスチャンアカデミー主催の神学生交流プログラムというものに参加してまいりました。神学生交流プログラムは、様々な神学校の学生が集まり、お互いの交流と学びをするという内容のもので、その中で、それぞれの神学校や教派での特徴や課題を共有することができました。私自身、実際に交流をしていく中で今までの認識が改められたり、新たなことに気付かされたりすることが多くありました。特

に各教派での伝道の課題は共通していることが分かりました。教会数、教会員数、献金額、受洗者数は共通して減少の一途を辿っており、時代の流れとともに教会は今までの伝道を見直す必要を迫られています。そのような状況にあって、プログラムでは、これからの教会の働きを担っていく私たちに何ができるだろうか、ということも話し合われました。その話し合いの中で、私自身が気付かされたのが、「対話」と「連帯」の必要性でした。教派を超えて、対話に開かれた関係を築いていくこと。また、その対話の中でお互いの課題を共有し、協力し合える部分において連帯していくこと。同じキリストを告白するものとして、この「対話」と「連帯」に開かれた関係を築いていくことが、これからの伝道のためにそして教会のために必要なことなのかもしれません。

公 告

2019年度全国壮年会連合総会に関わる件

規約細則第6条の定め（60日以上前）により表題の件を通知いたします。

- 総会日時：2019年8月22日（木）18：45～
【全国壮年大会の1日目に総会を行ないます】
- 開催場所：天城山荘
- 議案：全国壮年会連合ニュース第107号
（6月末頃予定）に合せお知らせします。
- 代議員登録（規約細則第4条、第7条による）
 - ◇ 派遣代議員：各教会・伝道所3名まで登録
 - ◇ 登録締切日：7月22日（月）／総会期日30日前
・・・参加者申込みに合わせて
- * 規約細則9条により壮年会等は議案を提出できます。
7月22日（月）までに役員会に提出ください。

日本バプテスト連盟奨学金を希望される方へ

日本バプテスト連盟奨学金を希望者は「日本バプテスト連盟全国壮年会連合奨学金制度に関する規程」に基づき、下記の要領で申請いただくようお願いいたします。詳細は日本バプテスト連盟全国壮年会連合へお問い合わせください

- 《申請期限》
2020年度入学予定者・・・2019年10月1日（火）（必着）
- 《申請書類》

申請書類	入学予定者
◇西南学院大学神学部・大学院学生奨学金願書	○
◇奨学金申請に関する推薦決議書	○
◇西南学院大学神学部・大学院学生奨学金申請履歴書	○
◇召命・献身決意書（神学部提出のコピーは不可）	○

※ 申請書類及び関連規程は全国壮年会連合ホームページ<http://www.sonen.net>の「ドキュメント」ページからダウンロードしてください。
 ※ なお、本様式は西南学院大学に提出する書類とは異なり、本奨学金貸与申請専用の様式です。お間違いないようご注意ください
 《問合せ・資料等請求先》
 〒336-0017 埼玉県さいたま市南区南浦和1-2-4
 日本バプテスト連盟全国壮年会連合事務局
 Tel/Fax:(048)886-7533(月・水・金 10:00～16:00)
 e-mail:sonen@bapren.jp

公 示

2019年度総会において以下の通り選挙を行います。

<立候補対象>

- 2020・21年度 日本バプテスト連盟全国壮年会連合 会長、副会長 各1名および監査2名

「全国壮年会連合 規約」第7条および「同 規約細則第21条」による。会長立候補者は当選後、総会にて事務局長、書記、会計各1名を指名し承認を得ることとなりますので、事前に選考願います。

- 立候補締切り：2019年7月31日（水）
- 全国壮年会連合規約細則第23条による選挙管理委員会の委員長宛に、書面で届出をしてください。届出の内容は、「立候補する役員名、氏名、所属教会、受浸年月日」を記載してください。様式は自由です。

<届出先>

選挙管理委員長：山内草彦（中部地方連合壮年会長）

〒512-1216 三重県四日市市桜花台2-21-4

選挙管理委員：堂前剛志（北海道地方連合壮年会長）、石井努（北関東地方連合壮年会長）、岡本吉正（西九州地方連合壮年会長）

注1) 選挙管理委員会は、総会当日まで立候補者名は公表しません。ただし立候補者ご自身のご判断で公表されることは自由といたします。

注2) 会長と監査が同一教会・伝道所から立候補があった場合、選挙管理委員会にて調整させていただきます。

日本バプテスト連盟全国壮年会連合

〒336-0017 さいたま市南区南浦和1-2-4

事務局執務：月、水、金 10:00～16:00 ☎・fax:048-886-7533 <http://www.sonen.net> sonen@bapren.jp